



仙台市立郡山小学校附属郡山水族館

先週、3年生が総合的な学習の一環として、広瀬川の水生生物調査に出かけました。講師の大学の先生の御指導をいただきながら、子供たちも担任も私も、浅瀬に入って夢中で生き物を探して、楽しいひとときを過ごしました。モクズガニ・ヨシノボリ・ハヤの稚魚・鮎・カジカ・トビケラ・カゲロウの幼虫などなど・・・たくさんの生き物が身近にいることに驚きました。

そのときに捕獲した蟹や魚を、観察用に学校にいただいたので、早速、水槽に入れて校長室前に置きましたが、小さなエアポンプだけで土曜・日曜の二日間放置していたために、何匹かの魚や蟹が死んでしまいました。生き残ったのは蟹（モクズガニ）と魚（ヨシノボリ）1匹ずつだけでしたが、一生懸命に川に入って調査した3年生や、生き残った2匹のために、改めて大きめの水槽としっかりとした循環器を用意し、照明も付けて、「仙台市立郡山小学校附属郡山水族館」をオープンしました。

モクズガニとヨシノボリは、広い水槽の中でお互いに縄張りを主張し合い、対立しながらも楽しそうに生活しています。

ヨシノボリは、プロ野球の往年の名選手の名前から、「高橋よしのぼり」と名付けました。私は幼い頃から、長嶋選手の引退セレモニーでのスピーチを完璧に暗記するほどの巨人ファンでした。今思えば、当時の仙台ではプロ野球中継は巨人中心で、巨人を応援するかアンチ巨人になるかという選択肢しかなかったことや、父が熱狂的な巨人ファンで、巨人が負けると父が不機嫌になり家中が陰悪な雰囲気になるので、それが嫌で、巨人には何とか勝ってほしいと祈っているうちに巨人を応援する気持ちが定着してしまった、ということだったので、その後も、楽天を応援するようになるまではずっと、巨人一筋でした。子供が好きなものの例えとして「巨人・大鵬・卵焼き」という言葉がありました。私の頃は「巨人・貴乃花（大関）・ハンバーグ」だったのでしょうか。昭和の記憶です。

まだ娘が幼い頃、自宅近くの名取川に魚を捕りに行ったことがあり、そのとき捕獲したヨシノボリに、当時巨人の4番バッターだった（後に監督も務めた）名選手の名前をもじって「高橋よしのぼり」という名前を付けて、ずいぶん長く飼育しました。不慮の停電で循環装置が止まり死んでしまったときは、娘と涙を流しました。そんなことを懐かしく思い出し、再び今回も「高橋よしのぼり」と名付けてかわいがっています。

モクズガニは「かに君」と名付けました。（ヨシノボリ最良は明らかですが、かに君もかわいがっています。）

2匹だけでは寂しいので、今後も水生動物が手に入れば、水槽内のバランスを慎重に考えながら仲間を加え、子供たちに観察させたいと思っています。

..... 切り取り線

学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2021年6月25日（ ）年（ ）組 児童氏名